

## アジアの途上国は危機回避のため 水資源管理の見直しを、ADB 報告書

【マニラ、11月29日】—アジア開発銀行（ADB）は、水資源の確保における危機を防ぐため、アジアの途上国は貴重な水資源の管理方法を再考すべきであるとする最新の報告書「[アジア水開発展望（The Asian Water Development Outlook）2007年版](#)」<sup>1</sup>を発表した。

来る12月、アジア各国の首脳や官民の専門家が参加して第一回「アジア太平洋水サミット」が日本で開催される。今回の報告書は、首脳らの水問題に対する理解の促進と問題解決のための政策策定を支援する目的で、2006年にストックホルム水賞<sup>2</sup>を受賞したアシット・ビスワス博士（インドネシア出身）ら専門家チームにADBが委任し、執筆されたもの。

報告書は、指導者は、それぞれ国内の水資源を守ることはできるが、アジア地域全体で水資源を確保に向けての集中的な取り組みが必要としている。

---

<sup>1</sup>報告書の本体は複数のテーマと国別の報告からなり（CD付）、そこで提起されたさまざまなトピックに関するより詳しい情報が別冊におさめられているほか、ビデオも製作されている。

<sup>2</sup>水のノーベル賞ともいわれる。

ビスワス氏は、「アジアでは、水に関して今ある問題やこれから起こる問題を解決するための知識が十分に蓄積し、技術やノウハウも向上しているので、途上国が将来、水の物理的な不足に遭遇することはまずありえないと断言してよい。ただし、こうした途上国が水の危機的状況に今後直面することがあるとすれば、それは水そのものの欠乏が原因ではなく、水の管理（ガバナンス）が不十分ないし不適切であることに因るものとなるだろう」と述べている。

ここで懸念されるのは、水関連産業における専門家の育成、環境保全に必要な水の確保、社会の高齢化に伴う水の消費への影響、及び食料やエネルギーの生産、開発に伴う影響といった分野で、ビスワス氏は、「水、エネルギー、食料、および環境の全ての分野を、水資源に関する政策をいかに適切に取り込んでいくか」が、アジア途上国にとっての主要課題であるが、「これらの政策をまとめあげる作業は、これまでも極めて実現が困難だったが、これからもより複雑で難しいものであろう」としている。

ADBは、2001年1月、アジア・太平洋地域における水の管理と開発には、統合された横断的アプローチを策定・実施することが必要との認識のもと、「全ての人々に水を（Water for All）」という政策が作られた。全体として、水は社会にとって不可欠な経済財であり、経済の公平な成長を支え、貧困を削減する上で、更に慎重に管理する必要があることを訴えているほか、域内の水の保護・保全に係る諸課題に取り組む上で、参加型アプローチを提案している。

また、ADBとしては、2006～2010年の5年間、同行の「ウォーター・ファイナンス（水融資）・プログラム」を通じ、水関連セクター向けの投資を急増させることとしている。同プログラムは、地方、都市部あるいは河川流域において、基金支援、改革、能力開発のプログラムを展開するもので、その年間投資額は、1999年当

---

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADBのニュースリリース（和文）は、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

時の水関連投資の倍額であるとともに、貸付額全体の約25%<sup>3</sup>に相当する20億ドルをゆうに超える規模となる予定である。

ADBの地域・持続的開発局のチャンビン・ヤオ（Xianbin Yao、姚先斌）局長代理は、

「『アジア水開発展望』は行動を起こすための料理のレシピのようなもの。アジア地域の水の将来について、これまでに積み重なった知識や経験と技術があれば、アジア途上国の水の問題は解決可能との、慎重ながらも楽観的なものである」

としている。

報告書を担当したウーチョン・ウム（Woochong Um、巫瓊文）エネルギー・運輸・水担当課長も、

「報告書に掲載された論文の多くは、シニアマネジャーや幹部級担当者に対し更なるコミットメントとリーダーシップを求めている点で共通している。水の管理分野で改革を起こすことの重要性を理解し、それを進めるビジョンと勇気を持った『水チャンピオン』（water champions）<sup>4</sup>を見出すことは大きな課題であるが、アジア途上国がこれらの課題や水の供給や衛生について直面している問題を乗り越えるための事例を、報告書は数多く紹介している」

と説明している。

---

<sup>3</sup> 3年間の移動平均。

<sup>4</sup> ADBではWater for Allイニシアチブの一環として、水問題の分野で業績のあったアジアの専門家を毎年選んでおり、2002年からこれまでに36名が「達人」に選ばれた。

---

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: [amochizuki@adb.org](mailto:amochizuki@adb.org)

ADBのニュースリリース（和文）は、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>